

(熊谷市) 記者クラブ情報

事業の名称等

生活道路における速度抑制に関する社会実験

1. 実施日時等 平成 22 年 12 月 3 日(金) 正午から
平成 22 年 12 月 24 日(金) 正午まで
2. 会場・主催地 市道60225号(日本たばこ産業(株)埼玉北営業所～藤間病院第一駐車場)

3. 主催者・関係者

- (1) 団体名等 国土交通省 国土技術政策総合研究所
- (2) 代表者名 所長 西川 和廣(担当:本田 肇) TEL 029-864-4539

4. 事業内容

自動車の速度抑制効果がある簡易デバイス(ゴム製ポール)を用いた交通安全対策に関する効果検証のための社会実験を行う。

(ゴム製ポールを1週間ずつ3パターン、計3週間程度設置する。)

5. 目的・理由

生活道路における交通事故対策を進めるため、速度抑制効果があると推定される簡易デバイスの効果を公道で検証する。

6. 経緯・経過

広幅員の幹線道路における安全対策は進んでいるが、生活道路に対する安全対策は遅れている。生活道路で対応可能な、簡易的で効果の高い交通安全対策の検証を進めてきた。

7. 影響・効果

今回の社会実験により効果を検証し、生活道路への普及を図り、交通事故の減少を目指す。

8. この事業の実施による特記事項

ビデオカメラ、騒音計及び利用者アンケートによる調査を実施する。
実験及び調査にかかる費用は、国土技術政策総合研究所が全額負担する。

(1) 県内の状況

ア. 県内で初めて イ. 県内で 番目 実施市別紙のとおり

(2) 他市が実施している事業に比べて本市の特色

・他市と同じ

※資料の有無 (有)

担当課 熊谷市 都市計画課 担当者 江原、渡辺
連絡先 TEL 0493-39-4807

簡易デバイスを用いた速度抑制に関する社会実験の概要

○実験内容

1. 屈曲による速度抑制実験(デバイス設置間隔 30m)
2. 狭さくによる速度抑制実験(デバイス設置間隔 50m)
3. 屈曲による速度抑制実験(デバイス設置間隔 50m)

○実施時期

12月3日(金)～12月24日(金)の 22日間(予定)

※機材の設置撤去のため、最大11/30～12/25の作業を予定しています。また、天候などにより作業開始日を変更することがあります。

○実験区間

熊谷市道 熊谷女子高南通り
区 間 日本たばこ産業(株)埼玉北営業所
～藤間病院第一駐車場 の区間

社会実験に関する概要説明は沿道へのチラシ配布の他、11月下旬より実験区間周辺に説明用の予告看板を設置します。

社会実験の実施区間

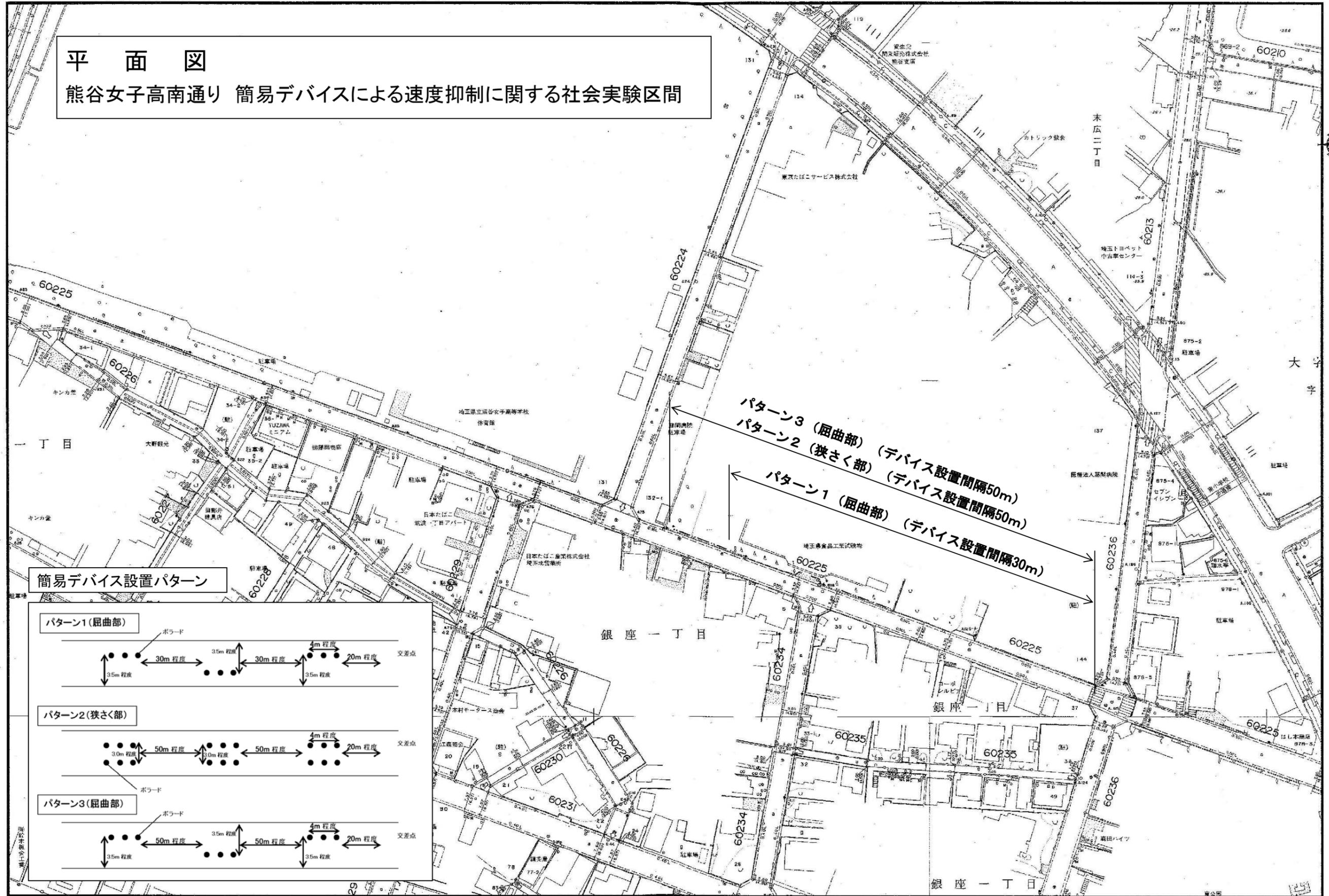


この図面に記載されている道路幅員は現況道路幅員であり、境界査定に基づく道路幅員ではありません。

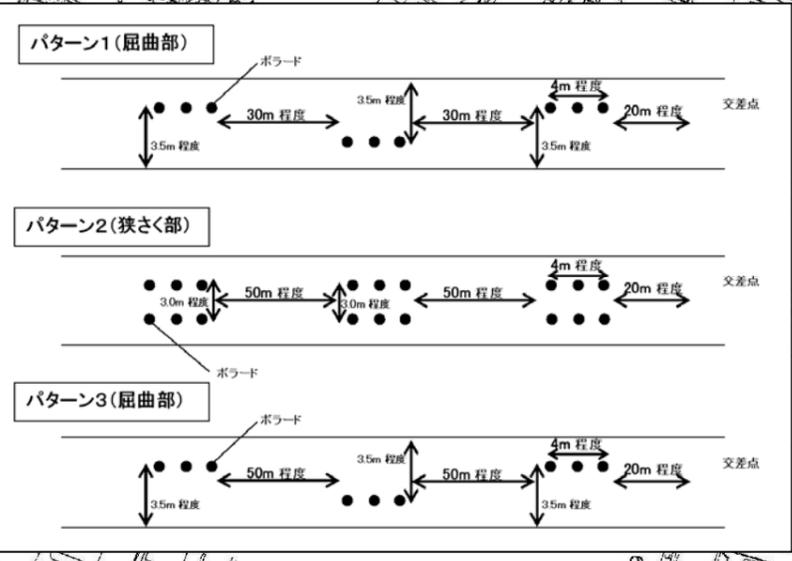
平成二十二年三月補正

平面図

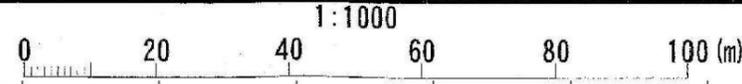
熊谷女子高南通り 簡易デバイスによる速度抑制に関する社会実験区間



簡易デバイス設置パターン



この図面に記載されている道路幅員は現況道路幅員であり、境界査定に基づく道路幅員ではありません。



熊谷市 建設部 管理課

パターン1（屈曲部）イメージ図
（デバイス設置間隔30m）



社会実験で設置する簡易デバイスは、ゴム製を予定しています。
注) 現地での測量を行っていないため、簡易デバイスの設置間隔は、
実験実施時の位置を正確に表現したものではありません。
また、関係機関協議を行っているところであり、簡易デバイスの設置位置は変更となることがあります。

パターン2（狭さく部）イメージ図
（デバイス設置間隔50m）



社会実験で設置する簡易デバイスは、ゴム製を予定しています。
注) 現地での測量を行っていないため、簡易デバイスの設置間隔は、
実験実施時の位置を正確に表現したものではありません。
また、関係機関協議を行っているところであり、簡易デバイスの設置位置は変更となることがあります。

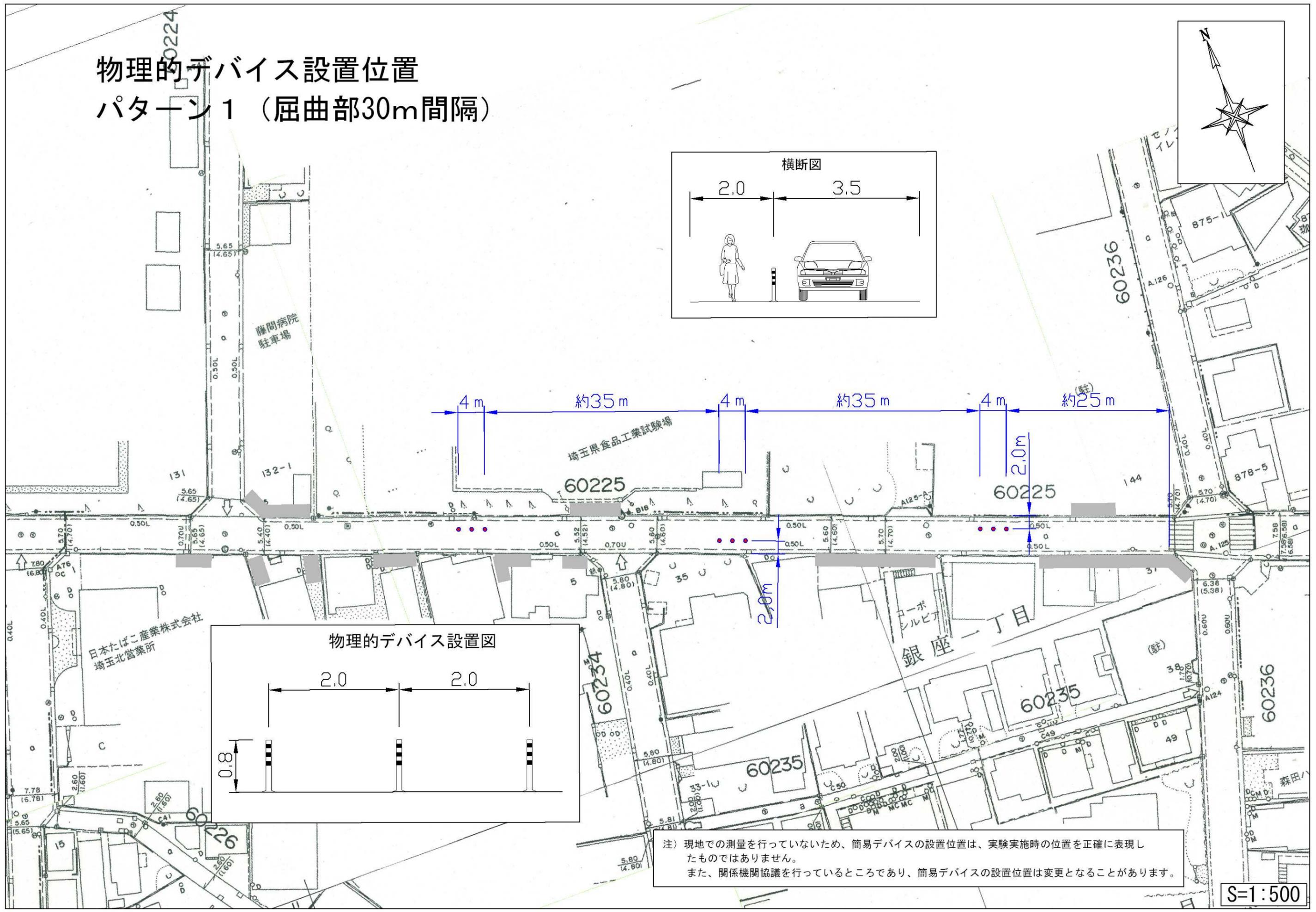
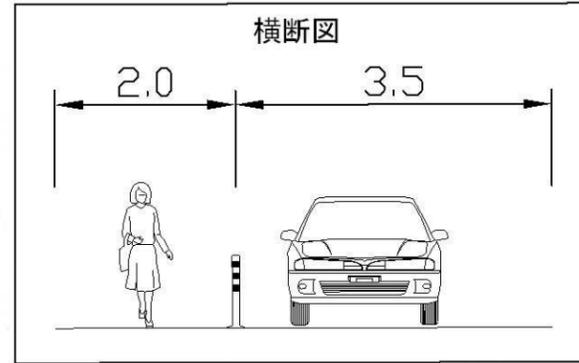
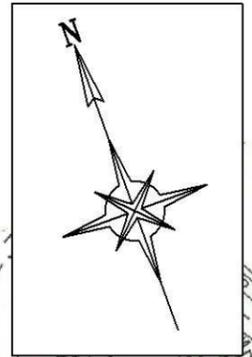
パターン3（屈曲部）イメージ図
（デバイス設置間隔50m）



社会実験で設置する簡易デバイスは、ゴム製を予定しています。

注) 現地での測量を行っていないため、簡易デバイスの設置間隔は、
実験実施時の位置を正確に表現したものではありません。
また、関係機関協議を行っているところであり、簡易デバイスの設置位置は変更となることがあります。

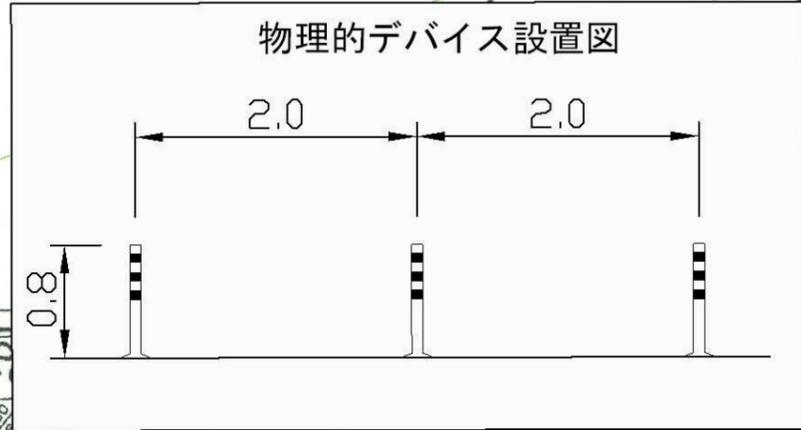
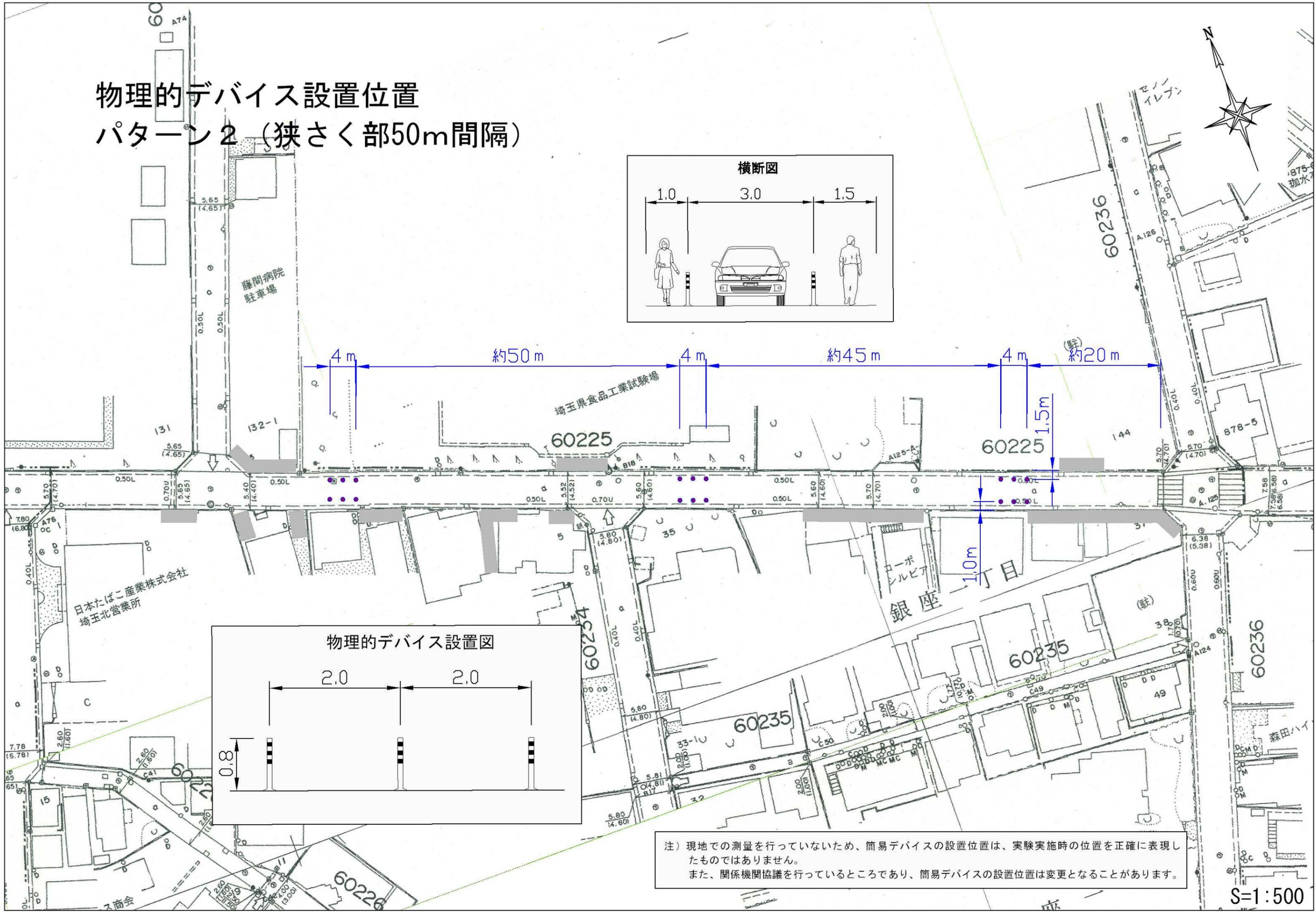
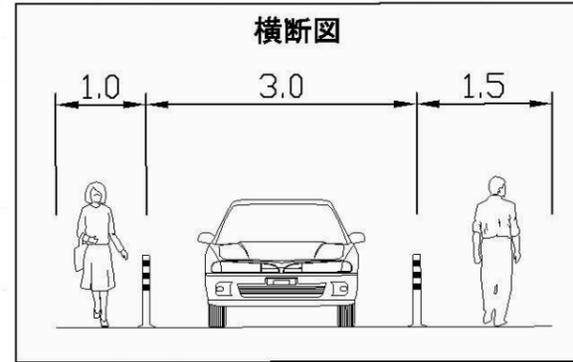
物理的デバイス設置位置 パターン1 (屈曲部30m間隔)



注) 現地での測量を行っていないため、簡易デバイスの設置位置は、実験実施時の位置を正確に表現したものではありません。
また、関係機関協議を行っているところであり、簡易デバイスの設置位置は変更となることがあります。

S=1:500

物理的デバイス設置位置 パターン2 (狭さく部50m間隔)



注) 現地での測量を行っていないため、簡易デバイスの設置位置は、実験実施時の位置を正確に表現したものではありません。
また、関係機関協議を行っているところであり、簡易デバイスの設置位置は変更となることがあります。

